

第 8 回 symbiosis art exhibition

シンビオシス・アート展

作 者 高松クリストファ

作品名 カ マ キ リ

日 時：令和6年2月18日（日）午前11時～午後3時

場 所：ユアエルム八千代台店 3階 エルムスペース

（京成線八千代台駅東口直結）

入場料：無料

主 催：八千代中央ライオンズクラブ 後援：八千代市

連 絡：047-458-7477 友愛みどり園 奥山

障がいのある人たちが創造するアートは、「エイブル・アート」「ボーダレス・アート」「アウトサイダー・アート」等の名称、概念で日本においても少しずつ紹介されつつあります。しかし、「そのような名称を聞いた事もない」という方がほとんど、というのが実情だと思います。戦後日本の「障がい者アート」画家として山下清さんがいますが、残念ながらそれ以外の作者・作品はほとんど知られていません。私たち八千代中央ライオンズクラブは、八千代市を中心として創作活動をしているアーティストを発掘し、その作品を広く紹介したいと考え、この美術展を企画し、今回第8回目となりました。

人間誰も「得意なこと」と「苦手なこと」を持っています。一人ひとりが、みんなの中で得意なことを活かし、苦手なことは支えてもらえる、そんな地域ができれば素敵ですね。そしてそれは「障がいのある人もない人も、共に豊かにくらす社会（共生社会）」の実現につながっていきます。苦手なことがある「障がい者」が、得意なことを十分に発揮しているアートから、私たちも感じ、学ぶ面があるのではないのでしょうか。